

離島漁業再生支援交付金
第3期対策の評価について
(平成27年度～令和元年度)

水産庁防災漁村課

1. 離島漁業再生支援事業交付金

1-1. 全体の実施状況と評価

第3期対策が開始された平成27年度には16都道県の76市町村にて本対策が開始され、730の漁業集落が参加して205の集落協定が締結されていますが、令和元年度には18都道県の76市町村で本対策が実施されており、709の漁業集落が参加して205の集落協定を締結するに至っています。5年間を通じて実施状況は、概ね横ばいで推移していますが、これは、第1期から第3期に渡る取組の中で離島地域において本交付金による対策が定着し、必要不可欠なものとなっていると考えられます。

都道県	実施市町村数					集落協定締結数					参加漁業集落数				
	H27	H28	H29	H30	R1	H27	H28	H29	H30	R1	H27	H28	H29	H30	R1
北海道	5	5	5	5	5	9	9	8	8	8	72	71	78	78	78
山形県	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
東京都	5	6	6	6	6	7	8	8	8	8	7	8	8	8	8
新潟県	2	2	2	2	2	18	19	18	19	19	79	89	83	86	89
石川県	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
三重県	-	-	1	1	1	-	-	1	1	1	-	-	5	5	5
兵庫県	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	7	7	7	7	7
島根県	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	58	58	58	55	55
山口県	4	4	4	4	4	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
徳島県	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
愛媛県	4	4	4	4	4	10	10	10	13	10	13	13	13	13	13
福岡県	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
佐賀県	1	1	1	1	1	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
長崎県	10	10	10	10	10	81	81	81	81	81	322	307	331	326	328
大分県	2	2	2	2	2	4	4	4	5	4	5	5	5	5	5
宮崎県	-	1	1	1	1	-	1	1	1	1	-	1	1	1	1
鹿児島県	20	20	20	19	19	36	36	36	35	35	124	124	53	52	52
沖縄県	13	14	13	11	11	15	16	15	13	13	25	16	52	48	50
全国計	76	79	79	76	76	205	209	207	209	205	730	717	712	702	709

※その他離島漁業再生支援交付金の対象離島を有する県は、宮城県、静岡県、愛知県、岡山県、広島県、香川県、高知県。

1. 離島漁業再生支援事業交付金

1-2. 漁場の生産力の向上に係る取組

(1) 実施状況

本取組については、全体の取組回数が5年間で552から724まで大幅に増加しました。また、各年度とも「種苗放流」や「漁場の管理・改善」の取組が多く、5年間の傾向で特筆すべきものとしては、「漁場の管理・改善」の取組については、取組回数が153から212に、割合が27.7%から29.3%に、「産卵場・育成場の整備」の取組については、取組回数が119から165に、割合が21.6%から22.8%にそれぞれ増加したことです。

また、1集落協定当たりの取組回数は、年間2.7から3.5と、増加傾向となっています。

(2) 評価

5年間を通じて、集落協定の締結数は横ばいですが、全体の取組回数は大きく増加しました。その中でも、「種苗放流」、「漁場の管理・改善」や「産卵場・育成場の整備」の取組回数は、5年間で増加している傾向にあります。また、1集落協定当たりの取組回数も増加していることから、第3期対策となり、地域特性に即した漁場の生産力の向上に対する取組への理解が深まり、集落を主体とした多様な取組が積極的に行われるようになってきていると評価することができます。

引き続き、地域の特性に即した取組を継続的に行い、目標の達成状況や効果等を確認しながら、それを取組内容に反映させていくことが重要です。

1. 離島漁業再生支援事業交付金

1-2. 漁場の生産力の向上に係る取組

＜漁場の生産力の向上に係る取組回数と取組全体に対する割合＞

区 分	H27		H28		H29		H30		R1	
	回数	割合								
漁場の生産力の向上に関する取組回数	552	100%	674	100%	760	100%	764	100%	724	100%
種苗放流	161	29.2%	185	27.4%	204	26.8%	220	28.8%	208	28.7%
漁場の管理・改善	153	27.7%	157	23.3%	199	26.2%	219	28.7%	212	29.3%
産卵場・育成場の整備	119	21.6%	140	20.8%	155	20.4%	172	22.5%	165	22.8%
漁場監視	108	19.6%	159	23.6%	143	18.8%	109	14.3%	106	14.6%
その他	11	2.0%	33	4.9%	59	7.8%	44	5.8%	33	4.6%
集落協定締結数	205		209		207		209		205	
1集落協定当たりの取組回数	2.7		3.2		3.7		3.7		3.5	

1. 離島漁業再生支援事業交付金

1-3. 漁業の再生に関する実践的な取組

(1) 実施状況

本取組については、各年度とも「新たな漁具・漁法の導入」、「高付加価値化」、「流通体制改善」、「販路拡大」、「その他」の取組が多く、5年間の傾向で特筆すべきものとしては、「流通体制改善」の取組について、取組数が41から64に割合が9.7%から12.4%に、「販路拡大」の取組について、取組数が66から87に割合が15.7%から16.7%に増加したことです。

また、1集落協定当たりの取組数は、2.1から2.5に増加しています。

(2) 評価

漁業の再生に関する実践的な取組の取組件数をみると、第2期で2,335件だったものが第3期で2,530件となり、195件(8.4%)の増加となっており、漁業の実践的な取組への積極的な姿勢が伺えました。また第2期と同様に、各年度で流通・販売面に係る取組が多く行われており、離島の漁業集落が流通・販売面での条件不利性を克服のため、重点的に取り組んでいることが伺われました。さらに、「高付加価値化」の取組も多く占めていることから、地域資源を有効活用することにより、離島経済の活性化を図ろうとする姿勢が伺われます。なお、各年度で「その他」の取組が多く行われていますが、その内容は「漁業の普及・啓発」や「新規就業者の確保」などの取組が多く行われており、地域の実情に応じた取組が行われている状況が伺われます。今後も、引き続き本取組を有効活用し、地域の課題に対応することにより、離島の漁業集落の条件不利性の克服や漁業所得の向上を図っていくことが重要です。

1. 離島漁業再生支援事業交付金

1-3. 漁業の再生に関する実践的な取組

＜漁業の再生に関する実践的な取組の数と取組数全体に対する割合＞

区 分	H27		H28		H29		H30		R1	
	数	割合								
漁業の再生に関する実践的な取組	421	100%	464	100%	559	100%	572	100%	514	100%
新たな漁具・漁法の導入	52	12.4%	47	10.1%	61	10.9%	59	10.3%	59	11.5%
新規漁業への着業	13	3.1%	18	3.9%	18	3.2%	18	3.1%	18	3.5%
新規養殖業への着業	38	9.0%	45	9.7%	50	8.9%	59	10.3%	46	9.0%
協業化による経営収支の改善・安全性の向上	8	1.9%	10	2.2%	13	2.3%	18	3.1%	17	3.3%
低・未利用資源の活用	13	3.1%	15	3.2%	20	3.6%	11	1.9%	13	2.5%
品質の均一化に向けた取組	11	2.6%	10	2.2%	14	2.5%	5	0.9%	6	1.2%
高付加価値化	55	13.1%	45	9.7%	69	12.3%	70	12.2%	53	10.3%
流通体制改善	41	9.7%	50	10.8%	50	8.9%	69	12.1%	64	12.4%
簡易加工	35	8.3%	33	7.1%	28	5.0%	30	5.2%	26	5.1%
海洋レジャーへの取組	13	3.1%	9	1.9%	16	2.9%	15	2.6%	15	2.9%
伝統漁法の取組	3	0.7%	2	0.4%	4	0.7%	2	0.3%	3	0.6%
漁労技術の向上の取組	4	1.0%	5	1.1%	14	2.5%	9	1.6%	10	1.9%
販路拡大	66	15.7%	85	18.3%	90	16.1%	100	17.5%	87	16.9%
その他	69	16.4%	90	19.4%	112	20.0%	107	18.7%	97	18.9%
集 落 協 定 締 結 数	205		209		207		209		205	
1 集 落 協 定 当 た り の 取 組 数	2.1		2.2		2.7		2.7		2.5	

1. 離島漁業再生支援事業交付金

1-4. 目標の達成状況

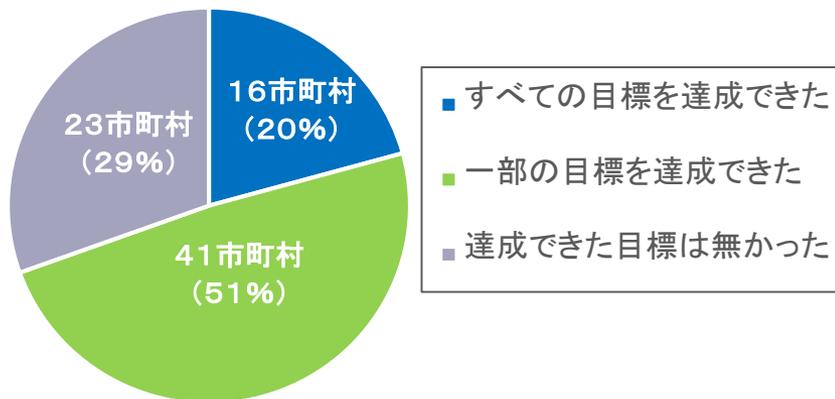
市町村離島漁業集落活動促進計画に定められた「漁業の振興方向に関する目標」の達成状況についての評価をまとめました。目標としては、主に平均漁業所得の維持又は向上、漁業就業者数の維持又は増加、漁業生産量の増加などがあげられていました。

実施市町村によって、実施集落数にも、各市町村の目標数にも違いがありますが、「すべての目標を達成できた」、「一部の目標を達成できた」市町村が全体の2/3を占める結果となりました。また、達成できた目標が無かった市町村も、厳しい状況の中、以下のとおり、本交付金の取組により「漁業者の所得が向上した」、「魚価の向上が図られた」等の成果が上がったとする報告もされています。

これらの結果から、それぞれの集落が目標の達成に向け、地域毎の特性に応じた様々な漁業再生活動に積極的に取り組むことにより、離島漁業の再生に着実に寄与している状況が伺われ、今後も創意工夫を生かした多様な取組を継続的に行っていくことが重要であると考えます。

<市町村促進計画の目標達成状況>

80市町村(第3期参加市町村の総数)



<本交付金により得られた成果の例>

(都道府県の評価書より抜粋)

- ・種苗放流により磯根資源の資源量が維持され、漁業者の所得が向上した。
- ・低・未利用魚を活用した加工品開発に取り組んだことで、魚価の向上が図られた。
- ・若手漁業者を中心とした集落活動を積極的に行うことで、漁業集落の活性化が図られた。

2. 離島漁業新規就業者特別対策事業交付金

2-1. 全体の実施状況と評価

第1期対策が開始された平成27年度には、2道県の6市町村にて本対策が開始されていますが、令和元年度には5都道県の10市町村で本対策が実施されるに至っています。

実施状況は5年間を通じて増加傾向がみられ、特に平成28～30年度での取組件数の増加が顕著であることから、積極的な本交付金の普及・活用がなされているものと考えられます。

<年度毎の取組件数>

	H27	H28	H29	H30	R1
北海道	2件	8件	8件	8件	6件
新潟県	—	1件	1件	1件	1件
東京都	—	1件	3件	4件	5件
長崎県	21件	31件	30件	24件	18件
鹿児島県	—	1件	2件	2件	1件
全国計	23件	42件	44件	39件	31件

2. 離島漁業新規就業者特別対策事業交付金

2-2. 漁業種類別・年齢別の取組件数

第1期対策で行われた取組を漁業種類別・年齢別にまとめました。

漁業種類別の取組状況は一本釣りが最も多く、延縄・曳縄が次に多かったことから、比較的沖合で大型水産物を対象とした操業が多いことが考えられました。

年齢別の取組状況については、合計56名に対して支援を行い、平均年齢は32歳であったことから、多くの若手漁業後継者が積極的に本交付金を活用したと考えられます。

＜漁業種類別の取組件数＞

	一本釣り	延縄・曳網	採貝藻	他※
北海道	-	8件	-	-
新潟県	-	-	-	1件
東京都	7件	-	-	-
長崎県	42件	3件	8件	7件
鹿児島県	1件	-	-	1件
計	50件	11件	9件	9件

＜年齢毎の取組件数＞

	～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～
北海道	3名	5名	-	-
新潟県	-	-	1名	-
東京都	-	2名	3名	1名
長崎県	-	13名	18名	8名
鹿児島県	-	1名	1名	-
計	3名	21名	23名	9名

※他：刺網、かご漁、たこつぼ漁等を含む

2. 離島漁業新規就業者特別対策事業交付金

2-3. 目標の達成状況

市町村離島漁業集落活動促進計画に定められた「離島漁業新規就業者特別対策事業交付金に関する事項」の目標の達成状況について、12市町村が新規就業者の受け入れ人数等の目標を定め、うち6市町村(50%)が目標を達成し、6市町村(50%)が目標未達成となりました。

さらに、後継者確保対策が重要である離島漁業において、以下の様な成果も数多く報告されていることから、本交付金が離島の漁業後継者確保に大きく寄与している状況が伺われ、引き続き、島内・外を問わず、若手後継者確保の取組を行っていくことが重要であると考えます。

＜本交付金により得られた成果の例(都道府県の評価書より抜粋)＞

- ・漁業未経験から本交付金を活用し、初期投資が抑えられたことが漁業へ従事するきっかけとなった。
- ・本事業は新たに独立した漁業者の経営安定に寄与していると同時に、集落全体の水揚げ量の増加にも貢献している。
- ・本交付金が、過疎・高齢化が進んでいる地域での漁業集落の維持・活性化だけではなく、新規就業者の意見や意欲、行動力が漁業集落内で大きな役割を果たしている。
- ・近年中古船が少なく価格も高い中、新規就業者の初期投資費用軽減に大きく役立っている。
- ・1年間を通じて安定して漁業収入を得ることができ漁業への定着を進めることができた。